



名張市郷土資料館(教育委員会文化生涯学習室)  
〒518・0734 名張市安部田2270番地  
名張錦生ふるさとパーク内  
☎0595・64・7890

NABARI  
HISTORY  
LETTER  
No. 15  
平成30年2月25日

# 見仏のススメ

## ―石に刻まれた仏たち―

●編集発行●

市内を散策すると道端で数多くのお地藏さんや石仏と出会います。

石仏とは、仏様の姿を石に彫ったものです。絵画のように線だけで描かれているものを線刻、石を削り姿を立体に見せる浮き彫り、姿をそのまま彫った彫像などがあります。また大きな岩盤に彫られているものを磨崖仏と呼びます。

特に希少な石仏としては、上比奈知国津神社境内二尊石仏、神屋蓮福寺二尊石仏、上比奈知墓地石仏の3基で、どれも古く、南北朝時代に作られたとされ、名張市の文化財に指定されています。

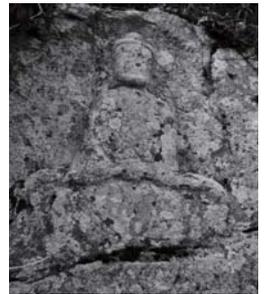
しかし、それら以外にもいろいろ残っているわれを持った石仏が市内にはたくさん残されています。

またお墓への道中や入り口には六地藏と呼ばれる仏様が祀られています。仏教の六道輪廻思想では、全ての生命は6つの世界に生まれ変わりを繰り返すとされています。地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天道の六道それぞれを6種の地藏が救うとする説から生まれたものです。六地藏もさまざまな形があり

ます。それぞれ独立して彫られているもの、一つの大きな石に6体が横一列に並んでいるものや上下二段に3体ずつ彫られているものもあります。二つの石に3体ずつ彫られているものもあります。

【木戸岩の阿弥陀さん】薦生から名張川を少し上流へ戻った木戸岩には、室町前期に彫られた阿弥陀像磨崖仏があります。この仏様は、近くの道からは見え、川に向かって彫られています。同じく上流の夏秋の川原にも地藏立像磨崖仏があります。おそらく名張川で材木や物資の運搬に携わった船頭や川魚漁師など、川を行き来する人々を水難事故から守っていたのでしょう。

【頓子山の子安地藏】朝日町の西、名張川を挟んだ大谷頓子山に祀られているお地藏さん。このお地藏さんは、言い伝えによると江戸時代の初め筒井氏が伊賀を治めていた時、名張奉行の松倉豊後守が夫婦に子どもが授かるようお祈りをしていたそうです。最初は山頂に2体あったそうですが、毎日山の上までお参りに行くのは大変だということで、1体を麓まで



木戸岩の阿弥陀仏さん(薦生)

下し2カ所でお祈りをするようになりました。現在も子授けのお地藏さん、安産のお地藏さん、乳の出るお地藏さん、夫婦親子の無病息災をかなえてくれるお地藏さんとして人々の信仰を集めています。

【勝連地藏】赤目の丈六橋を渡り西へ200m程行った道沿いに祀られているお地藏さん。古くから足病にご利益があるとされており、お堂の中には今でもたくさんのお供えがされています。

最近では、字のごとくスポーツや受験、商売など、こころという勝負の時に地藏さんに参りする人が増えてきているそうです。

【風呂に入るお地藏さん】赤目の丈六寺の境内に祀られているお地藏さん。正式には福寿延命縁結地藏と呼ばれています。

『なばりの昔話』には、昔、お地藏さんが夜な夜なひとり歩いてお風呂に入らせてもらっていたそうです。お風呂を使わせていた親切なお茶屋さんは、その後、大金持ちになり、家族みんな長生きをし、良縁にも恵まれ家族みんな幸せに暮らしたと言われています。今でも風呂に入るお地藏さんとして丈六の人たちが毎年12月24日に「お身拭い」としてお地藏さんの体をお湯で洗い流し、大切にお祈りをしています。

このお話は、TBSテレビの「まんが日本昔ばなし」(1993年8月21日放送)でも取り上げられました。

【滝に彫られた不動明王】名張は、周囲を山に囲まれているので、谷川がたくさ

ん流れており、落差数メートルの小さな滝も数多く見られます。赤目町星川の竜神山へ登るハイキング道近くの滝の岩壁には線刻不動明王座像磨崖仏があります。また、同様に西田原の山中にも滝が流れる岩壁に不動明王立像磨崖仏が彫られています。修験道の行場として開かれた赤目四十八滝をはじめ市内には役行者信仰が多く残っています。この2カ所の滝に彫られた不動明王も滝で修行する行者の姿を見守っていたのかもしれない。

【お化粧をする弁天さん】笠間川が名張川へ合流する葛尾の橋の下に線刻弁天磨崖仏があります。この弁天さんは、地元の人によつて女神らしく口に紅が付ければ、お化粧をされています。

弁天さんは七福神の一人ですが、元々はインドヒンドゥー教の河の女神であったことから水の神様として祀られていたことが多くです。青蓮寺ダムの湖畔に架かる赤色の橋もかつて湖底に沈んだ橋から弁天橋という名前が付けられています。

その他にも天正伊賀の乱にまつわる頭のない首切り地藏や体が割れている袈裟断り地藏、街道沿いの方向を示す道標として旅人を見守る地藏など、まだまだ市内にはたくさんのお地藏さんがあり、地域の人達がお祈りをしています。身近にある石仏を少し調べてみるといろいろな歴史やいわれ、御利益などがあり、新たな発見に出会えるかもしれません。



お化粧をする弁天さん(葛尾)



風呂に入るお地藏さん(丈六)

第1巻「名張市史 資料編 考古」  
第2巻「名張市史 資料編 古代」  
書籍版…5,000円、CD-ROM版…1,500円  
「おきつもの名張今と昔」800円

**好評、販売中です。**

販売場所  
郷土資料館または、  
市役所3階文化生涯学習室